

平成18年(2006年)5月9日

各位

東京都品川区東品川2丁目4番11号
株式会社JALUX(ジャルックス)
代表取締役社長 岡崎 俊城
(東証1部 コード番号: 2729)
お問い合わせ先 経理部長 山口 俊朗
(TEL 03-5460-7230)

JALUX グループ中期経営計画の策定について

“ Challenge & Change - Yes, we can ”

このたび、2007年3月期から2009年3月期(平成19年3月期~平成21年3月期)のJALUXグループ中期経営計画を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

| 中期経営計画数値 (連結ベース、百万円) | | | | | |
|---|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 2004年3月期末に発表の「経常利益で每期20%成長」の計画水準を持続し、2009年3月期の経常利益50億円を計画 ・ 配当性向は2009年3月期までに30%(単体ベース)を計画 | | | | | |
| | 2004年3月期 実績 | 2006年3月期 実績 | 2007年3月期 予想 | 2009年3月期 計画 | 平均成長率 (04/3期~) |
| 売上高 | 86,089 | 107,952 | 111,000 | 125,000 | 7.7% |
| 営業利益 | 2,081 | 2,444 | 3,100 | 4,800 | 18.2% |
| 経常利益 | 1,914 | 3,212 | 3,400 | 5,000 | 21.2% |
| 経常利益率 | 2.2% | 3.0% | 3.1% | 4.0% | - |
| 当期純利益 | 1,085 | 1,689 | 1,700 | 2,700 | 20.0% |
| ROE (株主資本利益率) | 11.0% | 13.6% | 12.4% | 16.0% | - |
| ROA (総資産純利益率) | 3.2% | 4.6% | 4.3% | 5.5% | - |
| EPS (1株当り純利益) | 86.21円 | 132.57円 | 133.22円 | 210.00円 | - |
| 配当性向 (単体ベース) | 27% | 28% | 26% | 30% | - |

1. 企業理念

「幸せづくりのパートナー」

お客様の心豊かな生活のために、常に良質な商品・サービスをご提案することにより、広く社会に輝きをお届けしてまいります。

2. 経営姿勢

お客様に常に良質な商品・サービスを提供することにより会社を発展させ、その発展に伴い育成された長期安定的な成長力により企業基盤を強化し、顧客・株主・社員・社会への利益還元をはかってまいります。

お客様中心 ----- お客様の満足の為に努力し、信頼の「幸せづくりのパートナー」を目指します。

株主重視 ----- 株主の皆様との長期的な関係を構築し、安定的利益還元をはかります。

社員の幸せを大切に -- 社員と家族の幸せを大切にし、働きがいのある環境をつくります。

企業の社会的責任 --- CSRを重視し事業活動に取り組むとともに、環境・資源の保護に努めます。

3. 事業戦略

顧客満足度の向上、企業価値の向上、成長の継続を目標とし、CSRを実践しつつ効率的に事業戦略等を推進することにより、経営姿勢の具現化と経営目標の達成を目指してまいります。また、JALグループ外からの収益の拡大をはかりつつ顧客基盤を強化・拡大していくことを基本戦略といたします。

さらに、企業理念及び経営姿勢の具現化と中長期的な収益力向上のために、今後の成長が見込まれる「環境」「文化」「厚生」の3分野への新規事業展開をすすめ、継続的な成長を目指してまいります。

中期的には、以下の事業戦略のもと、それぞれの課題に取り組み、目標の達成を目指してまいります。

BtoC戦略

マーケティング力の強化 -- 体制の整備と専門ナレッジの深耕などによる的確な営業戦略の構築

品質管理体制の強化 --- 品質・リスク管理の強化及び組織の「商品別」「機能別」への再編

運営体制の効率化 ----- コスト・情報管理徹底のための、社内共通機能の整理・統合による効率化

BtoB戦略

マーケティング力の強化 -- 体制の整備と専門ナレッジの深耕などによる的確な営業戦略の構築

連携の強化 ----- グループ企業との連携強化による総合力の発揮とシナジーの創出

外部リソースの活用 ----- ノウハウ補完、スピードアップ、シナジー創出のための、提携の積極化

新規事業戦略

「環境」「文化」分野においては、JALグループ全体の経営資源の活用もはかりながら、新たなビジネス・商材の開発に取り組む。

「厚生」分野においては、介護事業におけるノウハウ・ナレッジの醸成と利益の拡大をはかるとともに、付帯する各種厚生分野ビジネスへの展開に取り組む。

また、事業領域の拡大をはかるべく、成長分野及び既存事業とのシナジーが見込まれる分野には、M & Aを含め積極的に投資を行う。

本資料に含まれる将来の計画に関する記載は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および仮定に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因により計画と異なる場合があります。